

# わーかーびいーNews



第3号

2005年8月15日

編集: 特定非営利活動法人わーかーびいー事務局

住所: 札幌市厚別区上野幌3条4丁目1番12号

tel.011-893-1199 fax.011-893-5599

e-mail: [workerbe@msknet.ne.jp](mailto:workerbe@msknet.ne.jp)

<http://www.msknet.ne.jp/workerbee/index.html>

夏です! わーかーびいーです。

近況報告と参りましょうか、お知らせ等を交えながらお送りしたいと思います!!

国の情勢としては郵政民営化問題による衆議院解散により、障害者自立支援法案も廃案となりました。今後のゆくえが気になるところですが、制度に振り回されることなく、身近なところをより大切に見ていきたいと考えております。障がいのある当事者、そのご家族にとって今の生活がどうなるのか? どうしていけばよいのか?

「今」「現在」という身近なところを大切にしていきたいと思ひます。

今回のわーかーびいーNewsでは今のわーかーびいーのお話を盛りだくさんにお届けして参ります。

## 伝言板 伝言板

デイサービス キャンバスを利用されている方々が作った作品の一部です。

絵はがき1枚 200円 わーかーびいー1階にて販売中!!

## キャンバスの作品たち



## リサイクル品 募集!!

10月に、恵庭市内でふれあい広場が行われます。そこで GH ソレイユ(恵庭市所在)に入居されている方のご意向でバザーを出店することになりました。あわせて GH について、市民の皆様に理解を求める機会にしたいと考えています。

そこでバザーに出品するリサイクル品を募集致します。リサイクル品でぜひ! というものがありましたら、まずはわーかーびいーにご連絡下さい。ご協力宜しくお願い致します。

電化製品や家具、衣類等のご遠慮下さい。

# 社会福祉法人えぽっく 来春開設!

特定非営利活動法人わーかーびーでは、これまでの地域生活支援に対する実践をふまえ、来春、南幌町において、新たな拠点を開設します。障がい者の地域生活のきめ細かい24時間にわたって対応可能な各種サービスやシステムの整備、地域に根ざした展開、その人らしく地域のなかで、自分らしく暮らせるようサポートしていくことを目標としています。

そして、この拠点が障がい者の地域生活をサポートする拠点としてだけでなく、地域の皆さんとのコミュニティの拠点として、通所機能、居宅サービス機能、相談機能、地域交流機能等をそろえた地域に密着したセンターとして整備します。開設は2006年4月を予定しています。開設に当たっては、南幌町のご支援をいただきながら、南幌町所有の土地と既存建物をお借りし、改修を行い、活用させていただく予定です。詳細につきましては、今後、順次お知らせいたしますが、来春以降の通所利用等についての相談を受け付けています。くわしくは、わーかーびーまでお問い合わせください。

(担当：松坂、熊井、滝口)

法人名 **社会福祉法人えぽっく(仮称)**

予定地 南幌町

事業開始予定 2006年4月(予定)

実施予定事業 **知的障害者通所授産施設「ハニカム」(仮称)** 定員20名

- ・作業種目 陶芸活動、農耕作業、パソコン作業、紙すき、リサイクル品回収、織物、押し花・・・等を予定

**地域生活支援センター「ぷるーらる」(仮称)**

- ・短期入所事業、地域生活援助事業、居宅介護事業、相談支援事業、地域交流事業等を予定



イメージキャラクター

**えぽっく君**

## <かいけつ太郎からお知らせ>

# 個別支援計画について



居宅介護のサービスを提供するにあたり、各実施事業者は厚生労働省令に基づき「利用者の日常生活全般の状況及び希望を踏まえて、具体的なサービスの内容等を記載した居宅介護計画を作成しなければならない」となっています。かいけつ太郎でも、サービスをご利用なさっている方に、居宅介護計画を作成しています。ケアの際、ケアスタッフが目標にしていることなどをお知りになりたい方、また今後ケアの中身、内容についてご意見・変更、希望等のある方、ご自身の支援計画についていつでもご覧頂く事が可能です。ご希望の方はスタッフまでご連絡下さい。

# チャレンジタイム<報告>

5月からスタートし、これまで5回の企画を行ってまいりました。それぞれにどのようなことをしたのか、またどんな楽しいことがあったのか報告させていただきます。



楽しい~!!



5月22日(日) 晴れ あぐりチャレンジ~田植えにチャレンジ!~

南幌町の農家の方のご協力を得て、今年で2回目を迎えたあぐりチャレンジ。昨年は南幌町の住民の方たちにご協力いただき大好評!今年も昨年同様に好評で南幌町内や北広島、札幌からのお客様の参加がありました。今年も年3回の企画で一回目の今回は田植え体験を実施。田んぼの水も裸足で入るにはちょうどよく、みんなでにぎやかに稲の苗を植えました。

泥んこになったみんなの足をホースの水で流してくれた方、みんなが植える様子をニコニコして眺めている方、あぜ道から苗を放り投げるようにして植えていた方など、思い思いに楽しんでいただきたいと思います。ただ、スタッフが思っていたより泥んこになる方が少なかったのでちょっと残念...(笑)。自然とふれあう機会が少なくなっている中、南幌町という自然豊かな町で農業体験を通し、自然とそして人とふれあう貴重な体験ができた1日となりました。2回目は夏野菜の収穫と南幌温泉、3回目には稲の収穫とカレーライス作りを予定しております。今年で2度目のあぐりチャレンジ。親子参加の企画で日常、経験できない農作業の体験ということもあり、非常に好評を得て今年も南幌町の農家の方にご協力を頂き開催することができました。お世話になった方々にはこの場を借りてお礼申し上げます。

田植えをしてから約1ヵ月半。写真(下)の通り、順調に育っています。あと4~5日経つと穂が出てくるそうで、このままでいけば収穫は昨年と同じくらいの時期にできそうです。



2005年5月22日



こんなに大きくなりました!



2005年7月31日



6月12日(日) 7月9日(土) <もり  
チャレンジタイム in 円山



今年初めて年齢で参加対象のお客様を分け、それぞれの年齢に応じた内容で企画立案をしました。その第一弾が円山での登山や散策。6月12日の高校生から成人を対象で行われた登山は天気の前日まで雨で、中止?!と不安で迎えた当日でしたが、登山中から晴れてほとんどの人が登りきり、午後からはみんなぐったり。7月9日の小中学生を対象に行った企画では登山よりも動物園の散策がメインになったようです。今回、対象年齢を分けた理由としては学校(高校)を卒業したばかりの18歳から20歳代の方たちから、卒業後に集団で出かけるといった外出の機会が少なくなったという声を多く聞いたためです。実際に分けて行った結果、そういった方たちの参加も多くあり必要性を感じました。また、対象年齢に応じた企画(小中学生は元気に遊べる内容、高校生以上は体を動かした後でのんびりと過ごせられるような内容)があつていいのではないかと感じました。





7月26日(火)～27日(水) あめ  
わーかーびーと夏 2005・恵庭コース

ヒッヒーン



小中高生参加のお泊り企画第1弾！今回は恵庭のすずらん乗馬クラブでの乗馬体験を中心に企画したチャレンジタイム。あいにくの天気でしたが、乗馬クラブさんのお力添えもあり乗馬体験をすることができました。参加された方には普段なかなか体験できないことにチャレンジしていただけたように思います。2日目のレクリエーションも宿泊先の軒下で、水鉄砲で紙風船を落とすゲームをしたのですが、最後にはみんなで水鉄砲の打ち合いとなり結局みんなでびしょ濡れ。天気は関係なく、みなそれぞれに夏を満喫した2日間でした。

8月6日(土)～7日(日) 晴れ  
わーかーびーと夏 2005・夕張コース



遊園地で  
遊んだよ！

らぁめん



恵庭同様、小中高生参加のお泊り企画第2弾。昨年の夏、今年の冬に引き続きファミリースクールの方に大変お世話になり、夕張石炭の歴史村を中心とした企画・実施をしました。天気に恵まれ全員が事故も怪我もなく無事に2日間を過ごせてホッとしています。蒸し暑かったのですが、遊園地やプールで思いっきり楽しむことができたのではないのでしょうか。

親元を離れ、夏休みの思い出としてまたひとつ成長をしていくお子さんの姿がとても頼もしく感じております。

#### 【チャレンジタイムのアンケートより】

Q.参加する本人がイメージしやすいように、写真や絵カードなどを使用したスケジュールを用意してもらえると安心。

A.カラーでスケジュールを作成することは難しいのですが、写真などを使い今後は伝わりやすいスケジュール表を作成していきます。

#### 【チャレンジタイムスタッフより】

チャレンジタイムは南幌町の農家の方や恵庭のすずらん乗馬クラブさん、ファミリースクールの職員の皆様などの地域の方、また学生ボランティアさんなど多くの方々にご協力を得て実施しております。今後もお客様と地域とのかけはしとなれるようなチャレンジタイムにしていきたいと考えております。そして、皆様がいるいろいろなチャレンジをできる場としていきたいと思っておりますので、今後とも多くの方の参加をお待ちしております。

また「こんな企画をして欲しい」「自分たちも企画に参加したい」「こうすれば参加しやすいのに...」といったご意見がありましたら遠慮なくわーかーびーまでお寄せください。今後の企画の参考にさせていただきます。

(報告者：寺崎 真吾)



## 【わーかーびいーの個人情報取り扱いについて】

今年の4月から施行された「個人情報保護法」と厚生労働省から示されている「福祉関係事業者における個人情報の適正な取扱いのためのガイドライン」に基づき、かいけつ太郎・キャンパス・各グループホームにおいても、個人情報の具体的な取扱いについてのこれまでのマニュアルを更に精査し、よりいっそうの情報の保護に努めております。具体的対応の例として、特に以下のことにつきましましては、お客様のご理解をお願いします。

### 1. 利用目的

皆様からお預かりした個人情報につきましましては、お客様への居宅サービスを有効円滑に実施する目的のために利用します。

支援費請求および収受に関する事務、法令上事業所が行うべき義務として明記されているもの等、法令に定められている事柄につきましましてはこれに従います。

### 2. 管理

皆様から頂いた書類・メールについて

皆様から書類として頂いた個人利用登録票、居宅受給者証のコピー、サービス内容や予約の確認としてやり取りさせていただいた FAX・メール等の記録につきましましては、原則所外持出厳禁としております。

ケース記録（ケア内容についての記録）の管理について

ケアスタッフが記入したケース記録（ケア内容についての記録）については、所内パソコンサーバーにて一元管理しております。プリントアウトは、権限を持った決められた職員のみが行い、お客様個別のファイルに綴り、管理しています。

利用目的を果たした書類につきましましては、所定の保管義務期間が過ぎたものから順次確実適切な方法で処分を行ってまいります。

事業所内の個人情報保護の目的のため、民間警備会社によるセキュリティシステムの設置を行ってまいります。

### 3. 情報提供の承諾

サービスを利用されているご本人の安全確保・生命優先の目的のために医療機関および警察から緊急に情報提供を求められた場合、お客様に記入いただいた個人利用登録票の内容等について事業所管理者の判断で該当する事項についてのみ情報提供を行います。

それ以外の目的で第三者に情報提供を行う場合は、必ず該当するお客様やご家族に事前に提供の目的の説明と了解を得るものとします。

以上のほか、ケアスタッフが日常使用している引継ぎメモ、個人情報が含まれた仕事の持ち帰り、実習学生やボランティアも含めた守秘義務の徹底など、細目にわたって管理規定を設け、今後もお客様の個人情報の保護に努めてまいります。



## 石狩圏域障害者総合相談支援センター 夢民（むらみん） オープン！

夢民は北海道が実施する障害者総合相談支援センターの一つで、7月11日、北広島市に事務所をオープンし、わーかーびいーが、北海道からの委託事業として実施しています。年齢や障がいの種別にかかわらず、生活する上での困りごとや悩みごとの相談に応じ、市町村や地域の関係機関と協力しながら、より良い生活ができるような体制を整えていきます。また皆さんと思いを共有しながら、住み慣れた場所で安心して暮らせるように市町村や地域に働きかけていくということも役割の一つです。日常生活の中で、「困ったことがあるな」、「ほかに利用できるサービスを知りたい」など悩みごと、困りごとがありましたらお気軽に声をかけてください。

< 連絡先 >

センター長

いけだ ちえ



〒061-1276 北広島市大曲緑ヶ丘1丁目9番1

電話:(011)377-6200【24時間対応】/ FAX:(011)377-7007

E-mail: [ishi-ken@msknet.ne.jp](mailto:ishi-ken@msknet.ne.jp)



相談員

おかざき ゆう

活動エリア: 石狩圏域(千歳市、恵庭市、北広島市、江別市、石狩市、当別町、新篠津村、厚田村、浜益村)

## お詫びとご報告

8月12日(金) かいけつ太郎のケアスタッフによる移動介護中に、学齢期にあるお客様が行方不明になってしまふ事態が起きました。

かいけつ太郎として一報を受けた段階で、休日であったスタッフも含めたかいけつ太郎のスタッフおよび法人内の他事業所のスタッフも動員して、捜索にあたりました。また、親御さんとの連携のもと、警察への捜索願、札幌市交通局、鉄道警察、ラジオ局等にも協力をお願いしました。お客様が行方不明となられた時間が午後1時過ぎ、そしてお客様が無事発見されたのは当日の午後6時過ぎでした。市内の店舗でお客様の様子に心配された店員さんが声をかけていただき、無事警察に保護され、ご家族の元に帰られました。

一人での外出が困難な方、一人では地域との接点を上手に持つことが苦手な方のために、かいけつ太郎では1対1の支援として居宅介護サービスを行っています。とりわけ、移動介護における最大の使命は、お客様の安全な外出を保障することです。お客様行方不明の一報を受けてからの事業所としての動きは、所内マニュアルに基づいて行われました。しかし、一方で幾つかの反省点と改善点も浮かび上がりました。かいけつ太郎のヘルパー一人ひとりが事態の重大さを受け止め、かいけつ太郎として改めて業務の検証と見直しを現在すすめております。

炎天下の中、ひとりぼっちで歩き続けたお客様、どんなにか心細かったかと思います。祈る思いで無事発見の報を待ち続けたご家族の皆様とお客様には、心より深くお詫び申し上げます。

改めてお客様の大切な命と時間をお預かりしていることを強く肝に銘じ、二度とこのようなことが起きないように、予防策も併せて具体的な対応をとってまいります。

そして、捜索にご協力いただいた多くの皆様には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

2005年8月13日

かいけつ太郎～ケアサービスステーション

所長 熊井 ゆかり



GH オレンジ・デイサービスキャンパス担当

寺口 健

「周りにいるスタッフに支えられながら頑張っていこうと思います！」



かいけつ太郎ケアスタッフ

濱守 雅弘

「一生懸命、精一杯頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします！」



### < 編集後記 >

今年の夏は気温に左右され、雨にも降られ、蒸し暑さに眠れず...そんな夏を皆様いかがお過ごしでしょうか? わーかーびいーニュースも無事第3号まで発行することができました。ほっ...と、ため息をついている間にも汗はだらだら...(- -;)ゞ パソコンに囲まれていると暑い、暑い。そう! わーかーびいーの中は暑いのです!!!クーラーなんてどこかに落ちてないかなあ(・\)(/・)キョロキョロ

なんてクーラーを探す前に、もっと読みやすく、皆様に様々の情報をお伝えできるようにこれからも広報誌を作成していこうと思います!

< 編集・滝口 >